

施策	3201 防犯・交通安全対策の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	誰もが安全・安心に暮らせる環境を確保するため、防犯対策及び交通安全対策の推進を図る						
成果指標	防犯灯延設置数...5年間（平成25年度～平成29年度）で13,750基（現状値12,261基） 交通安全教室参加者数...5年間（平成25年度～平成29年度）で6,000人（現状値4,506人） 歩道設置道路延長...5年間（平成25年度～平成29年度）で132,251m（現状値129,306m）						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [基]	予定	10,745.00	12,861.00	13,161.00	13,461.00	13,750.00
		実績	10,531.00	12,888.00	13,353.00		
	成果指標2 [人]	予定	5,600.00	5,100.00	5,400.00	5,700.00	6,000.00
		実績	4,281.00	4,550.00	3,433.00		
		単位コスト	111.03	80.65	70.57		
	成果指標3 [m]	予定	104,070.00	129,931.00	129,931.00	131,034.00	132,251.00
		実績	104,070.00	129,931.00	129,931.00		
		単位コスト	4.57	2.82	1.86		
	成果指標4 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
トータルコスト (千円)	予定	534,615	220,406	271,879			
	実績	475,335	366,940	242,268			
内部評価	貢献度	犯罪件数・交通事故件数の減少には、防犯灯設置灯数・交通安全教室参加者数の増加や、歩行者の安全施設の整備推進が必要であるため、目標達成度による貢献度は高い。					
	達成状況	防犯灯設置灯数は、目標数に達した。交通安全教室参加者数は、PR不足のため目標に達しなかった。また、歩道設置道路延長は、目標に達した。					
	課題	防犯、交通安全への関心を高めるための周知・啓発活動を継続的に実施することが必要。また、交通安全施設整備を計画的に推進するためには、十分な財源の確保が必要。					
	取組方針	防犯灯設置は、自治会に周知し要望を取りまとめてもらう。交通安全教室開催を積極的にPRするとともに、通学路交通安全プログラムを策定し順次整備推進を図る。					
外部評価	<p>成果指標について、交通安全教室参加者数が昨年に比べ1,000人以上減少しているが、どの年代を対象にしたものが減少してしまったのか、分析を行うとともに内容の変更や自治会の集まりの時に合わせて実施するなど、工夫を凝らした施策を実施すべきである。</p> <p>防犯対策については、引き続き定期的なパトロールを実施すべきである。</p> <p>交通安全対策については、最近自転車での移動が目立つが、市民に対しての自転車走行のマナーに関し、教育の機会を創設すべきである。また、中学生・高校生の交通マナー教育の充実を望む。さらに、高齢者には、安定性のある三輪車の推進を検討されたい。</p>						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	114101	交通指導員設置費（栃木）				40,896	100
	114102	交通指導員設置費（大平）				1,514	100
	114103	交通指導員設置費（藤岡）				1,223	100
	114104	交通指導員設置費（都賀）				786	100
	114105	交通指導員設置費（西方）				399	100
	114106	交通指導員設置費（岩舟）				2,310	100
	114202	交通安全対策事業費（大平）				4,202	100
	114203	交通安全対策事業費（藤岡）				1,448	100
	114204	交通安全対策事業費（都賀）				2,834	100
114205	交通安全対策事業費（西方）				1,816	100	

平成27年度

単位 施策評価表 補表

施策	3201 防犯・交通安全対策の充実		
区分	妥当性	妥当	市が、市民が安全・安心に暮らせる環境の確保を行わねばならない。
	コスト削減の余地	有	不要となった防犯灯の再利用、再生資源利用等による交通安全施設整備などに余地がある。
	受益者負担	適正	市が行うべき事業である。
	上位貢献度	有効	安全・安心に暮らしの確保のための貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	市・警察等が連携して取り組む必要があり類似事業はない。
	成果向上の余地	有	防犯・交通安全の推進は継続して実施していく必要がある。
内部評価	貢献度		
	達成状況	防犯灯の設置については自治会からの要望を踏まえ目標灯数に達した。防犯対策としては、防犯カメラを新大平下駅東口に設置し、警察と連携し栃木駅周辺パトロール、また青色回転灯車によるパトロールを実施した。交通安全教室はPR不足や災害等の要因により目標数に達しなかった。自転車に関する道路交通法の改正に併せ、警察と連携し街頭啓発を実施した。歩道設置道路延長は目標に達した。	
	課題		
	取組方針	防犯灯設置は引き続き自治会に周知し要望を取りまとめてもらう。交通安全教室開催については老人クラブや幼稚園、保育園等にも周知しPRしていくとともに、今までと違う内容のものも取り入れたい。交通安全施設整備については通学路交通安全プログラムに基づき順次整備を図る。	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020110	予算事業コード	114101	事業区分	02	経常的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	交通指導員設置費（栃木）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 交通防犯課 交通防犯係					担当者	毛塚友己彦					従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市交通安全に関する条例								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	375,716	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時における交通整理誘導を行う。 ・交通安全教室を開催する。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・交通事故を防止するため、歩行者等の交通安全の確保を図る。 ・交通安全教室の受講者数を増加させる。					
	成 果 策 目 標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容 その成果									
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度 【事業内容】 ・児童生徒の登校時の交通安全誘導を行う。 ・各種行事開催時の交通整理、誘導を行う。 ・交通安全教室の開催。 ・交通指導員等報酬 【成果】 ・児童生徒の登校及び各種行事の交通安全が確保された。 ・交通安全教育の推進が図られた。								
	県支出金	270	270									
	地方債	0	0									
	その他特財	0	0									
	一般財源	36,561	36,876									
	事業費 a	36,831	37,146									
	人件費 b	3,750	3,750									
減価償却費 c	0	0	平成27年度 【事業内容】 ・児童生徒の登校時の交通安全誘導を行う。 ・各種行事開催時の交通整理、誘導を行う。 ・交通安全教室の開催。 ・交通指導員等報酬、制服購入 【成果】 ・児童生徒の登校及び各種行事の交通安全が確保された。 ・交通安全教育の推進が図られた。									
総事業費 a+b+c	40,581	40,896										
結果指標 1	61.00	61.00	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2	2,518.00	1,903.00	交通指導箇所	交通指導員数(H27目標値：61人)	箇所							
			交通安全教室受講者数	年間受講者数(H27目標値：5400人)	人							
妥当 無 適正 有効 無 有												

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	・交通安全教室については、市民の受講意欲を高めること等に配慮するとともに、交通安全だけでなく、防犯についての内容も取り入れることにより、安全安心の意識高揚を図る。											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020110	予算事業コード	114102	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	交通指導員設置費（大平）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実		
担当部課 係・担当者	生活環境部 大平市民生 生活環境交通係						担当者	田川隆一				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市交通安全に関する条例								事業期間	H21 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	1,215 千円	

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時における交通整理誘導を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・交通事故を防止するため、歩行者等の交通安全の確保を図る。					
	成果目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度						平成27年度					
	県支出金	0	0	【事業の内容】 ・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。 【成果】 ・児童・生徒の登校時の安全を確保できた。 ・イベント来場者の安全が図れた。											
	地方債	0	0	【事業の内容】 ・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な指導を行う。 ・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。 【成果】 ・児童・生徒の登校時の安全を確保できた。 ・イベント来場者の安全が図れた。											
	その他特財	0	0												
	一般財源	106	14												
	事業費 a	106	14												
	人件費 b	1,500	1,500												
減価償却費 c	0	0													

総事業費 a+b+c	1,606	1,514	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	5.00	5.00	交通指導箇所	交通指導員数 H27目標値 5		箇所		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2													

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 交通指導員の意思統一、情報の共有化を図るため、会議を開催する。												
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考													
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020110	予算事業コード	114103	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策										
事業名	交通指導員設置費（藤岡）										主	3201	安全安心な暮らしの確保			防犯・交通安全対策の充実									
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 藤岡市民生 生活環境交通係					担当者	田中 正和			従															
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市交通安全に関する条例							事業期間	H16 ~ H32 年度		全体事業費 (人件費除)	48,000 千円										
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 交通指導員に下記の任務される為の業務 ・児童、園児等の登校時の安全な誘導 ・歩行者及び自転車通行者に対する正しい交通の指導 ・交通安全に関する広報活動の推進及び意見の提出 ・催し物等の各種行事開催時における交通混雑の整理誘導 ・前各号に掲げるもののほか、市長が交通安全上必要と認めた事項 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・交通指導員として交通に関する法令に通じ、交通安全教育に熱意を有し、指導力を発揮し交通安全を推進する。 ・交通安全教室の受講者数を増加させる。													
	単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込											成果 施策 目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)										
事業費・ 指標の 推移	国庫支出金		0	0											事業の 内容 その 成果	平成26年度					平成27年度				
	県支出金		0	0												【事業の内容】 ・児童、生徒等の登校時の安全な誘導を行う ・各種行事における交通整理や誘導 【成果】 ・児童、生徒等の登校時の安全が確保できた ・イベント来場者の安全が図られた					【事業の内容】 ・児童、生徒等の登校時の安全な誘導を行う ・各種行事における交通整理や誘導 【成果】 ・児童、生徒等の登校時の安全が確保できた ・イベント来場者の安全が図られた				
	地方債		0	0																					
	その他特財		0	0																					
	一般財源		100	98																					
	事業費 a		100	98																					
	人件費 b		1,125	1,125																					
減価償却費 c		0	0																						
総事業費 a+b+c		1,225	1,223	指標名	算出方法					単位	事業の 事後 評価	妥当性	コスト 削減の 余地	受益者 負担	上位 貢献度	類似事業 の有無	成果向上 の余地								
結果指標 1		10.00	10.00	交通指導員設置箇所	交通指導員数	H27目標値10人			人	妥当		無	適正	有効	無	無									
結果指標 2																									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 効率的に事務執行に努める。交通指導員の意志統一を図るため月1回会議開催。																								
事後評価備考																									

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020110	予算事業コード	114104	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	交通指導員設置費（都賀）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 都賀市民生 生活環境交通係					担当者	石川 太陽		従								
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市交通安全に関する条例								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	1,536 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時における交通整理誘導を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・交通事故を防止するため、歩行者等の交通安全の確保を図る。					
											成果 施策目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)					

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込											
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0										
	県支出金	0	0										
	地方債	0	0										
	その他特財	0	0										
	一般財源	80	36										
	事業費 a	80	36										
	人件費 b	750	750										
減価償却費 c	0	0											
総事業費 a+b+c	830	786											
結果指標 1	4.00	4.00	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 2	190.00	193.00	交通指導員数	交通指導員数 4人	人								
			活動日数	活動日数 190日	日								
事業の内容 ・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。 【成果】 ・児童・生徒の登校時の安全を確保できた。 ・イベント来場者の安全が図れた。													
事業の内容 ・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。 【成果】 ・児童・生徒の登校時の安全を確保できた。 ・イベント来場者の安全が図れた。													

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・児童生徒の交通事故を未然に防止している。											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020110	予算事業コード	114105	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	交通指導員設置費（西方）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実		
担当部署・担当チーム名	生活環境部 西方市民生 生活環境交通係						担当者	寺内 史幸				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		栃木市交通安全に関する条例						事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	558 千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時における交通整理誘導を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・交通事故を防止するため、歩行者等の交通安全の確保を図る。					
	単位：千円、人										成果目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)					

事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	平成26年度			平成27年度						
	県支出金		0	0		【事業の内容】 ・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。 【成果】 ・児童、生徒の登校時の安全を確保できた。 ・イベント来場者の安全が図れた。				・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。 【成果】 ・児童、生徒の登校時の安全を確保できた。 ・イベント来場者の安全が図れた。					
	地方債		0	0											
	その他特財		0	0											
	一般財源		28	24											
	事業費 a		28	24											
	人件費 b		375	375											
減価償却費 c		0	0												
総事業費 a+b+c		403	399												
結果指標 1		3.00	3.00	交通指導員設置箇所	交通指導員数	3人	単位	人	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2									妥当	無	適正	有効	無	無	

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 効率的に事務執行に努める。														
--------	-------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020110	予算事業コード	114106	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	交通指導員設置費（岩舟）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実		
担当部署・担当チーム名	生活環境部 岩舟市民生 生活環境交通係					担当者	荻原 知巳		従								
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市交通安全に関する条例								事業期間	H26 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	370	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時における交通整理誘導を行う。 【主要事業】								達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・交通事故を防止するため、歩行者等の交通安全の確保を図る。							
									成果目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)							

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	事業の内容 その成果	平成26年度	平成27年度									
	県支出金		0		【事業の内容】 ・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。 【成果】 ・児童・生徒の登校時の安全を確保できた。 ・イベント来場者の安全が図れた。	【事業の内容】 ・交通指導員による児童生徒の登校時の安全な誘導を行う。 ・各種行事開催時において、交通整理、誘導を行う。 【成果】 ・児童・生徒の登校時の安全を確保できた。 ・イベント来場者の安全が図れた。									
	地方債		0												
	その他特財		0												
	一般財源	99	60												
	事業費 a	99	60												
	人件費 b	2,250	2,250												
減価償却費 c		0	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
総事業費 a+b+c	2,349	2,310					交通指導箇所	交通指導員数 H27目標値 6箇所	箇所	妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 1	6.00	6.00													
結果指標 2															

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 交通指導員の意思統一、情報の共有化を図るため、会議を開催する。					

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020115	予算事業コード	114401	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	防犯灯設置費										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 交通防犯課 交通防犯係						担当者	宮田若美				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市防犯灯の設置及び管理に関する要綱								事業期間	S 3 7 ~ H 2 9 年度		全体事業費 (人件費除)	58,899 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・市民の安全と犯罪の防止を図るため、自治会と連携し防犯灯を設置する。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・自治会の申請に基づき、必要な箇所に効果的に防犯灯を設置する。 ・新規住宅街、新設道路の開通、店舗の閉鎖等、様々な状況に併せ、柔軟に対応し新設、撤去、移設を行うようにする。					
	成果目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込											
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果									
	県支出金	0	0										
	地方債	17,700	0										
	その他特財	0	0										
	一般財源	1,980	15,004										
	事業費 a	19,680	15,004										
	人件費 b	3,750	3,750										
減価償却費 c	0	0											
総事業費 a+b+c	23,430	18,754											
結果指標 1	580.00	446.00	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 2	12,888.00	13,353.00	LED灯設置数	設置灯数(H27目標値：300灯)	灯								
			総設置灯数	設置状況(H27目標値：13,150灯)	灯								
事業の事後評価 妥当 有 適正 有効 無 有													

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	・自治会からの申請を十分に尊重しつつ、より効果的な箇所への設置を検討し、必要があれば自治会と協議する。 。不要になった防犯灯器具の再利用等により、コストを縮減する。											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020115	予算事業コード	114404	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	防犯灯設置費（都賀）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 都賀市民生 生活環境交通係					担当者	鈴木 健司		従								
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市防犯灯の設置及び管理に関する要綱								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	2,322 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・市民の安全と犯罪防止を図るため、自治会と連携し防犯灯を設置する。 【主要事業】								達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・自治会の申請に基づき、必要な箇所に効果的に防犯灯を設置する。							
	成果目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度						平成27年度					
	県支出金	0	0	【事業の内容】 自治会から防犯灯申請があったものの受付及び現地確認。 【成果】 交通防犯の確保が行われている。						【事業の内容】 自治会から防犯灯申請があったものの受付及び現地確認。 【成果】 交通防犯の確保が行われた。					
	地方債	0	0	事業の内容 その成果											
	その他特財	0	0												
	一般財源	0	0												
	事業費 a	0	0												
	人件費 b	150	150												
減価償却費 c	0	0													
総事業費 a+b+c	150	150	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 1	111.00	0.00	申請基数	申請基数 50灯		灯									
結果指標 2						妥当								有	適正

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・自治会からの申請の受理及び現地確認等による適正管理。														
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	020115	予算事業コード	114405	事業区分	02	経常的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策			単位施策			
事業名	防犯灯設置費 (西方)										主	3201	安全安心な暮らしの確保			防犯・交通安全対策の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 西方市民生 生活環境交通係						担当者	寺内 史幸			従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等									事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	8,741 千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 自治会の要望に基づき防犯灯の新設、移設を行う 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 夜間の道路の危険箇所解消						
	成果 施策目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)																
単位: 千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込											平成26年度			平成27年度		
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成25年度から本庁一本化 【事業の内容】 ・防犯灯の設置及び管理に関する要綱に基づき、自治会からの申請に対し、防犯灯の新設及び修繕を実施する。 【成果】 ・自治会からの要望に基づき11基を新設、3基を修繕した。			平成25年度から本庁一本化 【事業の内容】 自治会の要望に基づき防犯灯の新設業務 夜間の道路危険箇所の減少 ・支所では自治会からの要望書受付 【成果】 ・自治会からの要望に基づき12基を新設した。										
	県支出金	0	0															
	地方債	0	0															
	その他特財	0	0															
	一般財源	0	0															
	事業費 a	0	0															
	人件費 b	375	375															
減価償却費 c	0	0	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地				
総事業費 a+b+c	375	375	申請基数	申請基数 H27目標値 20灯			灯		妥当	無	適正	有効	無	無				
結果指標 1	11.00	12.00																
結果指標 2																		
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・効率的に事務執行に努める。 ・自治会に公平、平等に設置するように努める。																	
事後評価備考																		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	405201	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	市道 106 号線交通安全施設整備事業費（栃木祝町）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路河川整 道路整備第 1 係						担当者	阿部 洋一				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		道路法		事業期間	H20 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	363,000		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市道106号線(祝町)を用地買収、歩道設置等により歩車道を分離する。 歩道設置工事 L=150.0m、W=2.5m(完成道路幅員 11.5m) 用地取得 1,400㎡ 物件補償 建物8棟、他工作物等 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・通学児童や歩行者等の交通安全を確保する。 ・市庁舎周辺への交通を誘導すると共に、安全で快適な道路交通環境を確保する。								
	成 果 策 目 標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)														
単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込		事業の内容				その成果								
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成 26 年度 【事業の内容】 歩道整備事業に必要な用地の取得、物件補償及び工事を実施する。 【成果】 歩道整備事業に必要な用地の取得 A=471.69㎡、3筆、物件補償2件、工事 L=87.1mを実施した。 ・用地取得率：96.70% ・工事進捗率：58.10%				平成 27 年度								
	県支出金	0	0					休止								
	地方債	94,400	0													
	その他特財	0	0													
	一般財源	10,553	0													
	事業費 a	104,953	0													
	人件費 b	1,500	0													
減価償却費 c	0	0														
総事業費 a+b+c	106,453	0	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
結果指標 1	87.10	87.10	歩道整備延長	累積整備延長	H27目標値 90.00m	m		妥当	有	適正	有効	無	有			
結果指標 2	95.50	95.50	事業進捗率	累積事業費÷全体事業費×100	H27目標値 95.83%	%										
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 1. 事業費コストの縮減 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討および決定 再生資源の活用による建設コストの削減 2. 時間管理のコスト縮減 事業地取得に要する期間短縮 円滑な移転ができるような方策の検討															
事後評価備考																

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	405301	事業区分	02	経常的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	市道 A 1 号線交通安全施設整備事業費 (栃木入舟町)										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路河川整 道路整備第 1 係						担当者	阿部 洋一				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		道路法		事業期間	H 2 5 ~ H 3 1 年度				全体事業費 (人件費除)	200,000		千円	
事業の概要	(事業完了 (事業期間のない事業は平成 3 2 年度) までに、誰 (何) を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市道 A1 号線用地買収、歩道の整備により歩車道を分離する。 ・歩道整備工事 L=110m W=2.5m (完成道路幅員 11.5m) ・用地取得 約 700m ² ・物件補償 建物 6 棟、他工作物等 【主要事業】						達成目標	(事業完了 (事業期間のない事業は平成 3 2 年度) の目標) ・通学児童や歩行者等の交通安全を確保する。 ・市庁舎周辺への交通を誘導すると共に、安全で快適な道路交通環境を確保する。								
	成 果 策 目 標	防犯灯延設置数...5 年間 (平成 25 年度 ~ 平成 29 年度) で 13,750 基 (現状値 12,261 基) 交通安全教室参加者数...5 年間 (平成 25 年度 ~ 平成 29 年度) で 6,000 人 (現状値 4,506 人) 歩道設置道路延長...5 年間 (平成 25 年度 ~ 平成 29 年度) で 132,251m (現状値 129,306m)														
単位 : 千円、人	平成 26 年度決算額	平成 27 年度決算見込		事業の内容						事業の内容						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	15,741	事業の内容 その成果	平成 26 年度						平成 27 年度					
	県支出金	0	0		【事業の内容】 歩道整備事業に必要な土地鑑定評価、用地測量、物件調査を実施する。						【事業の内容】 歩道整備事業に必要な物件等調査 (再積算)、用地の取得及び物件補償を実施する。					
	地方債	5,500	11,500		【成果】 歩道整備事業に必要な土地鑑定評価、用地測量、物件調査を実施した。						【成果】 歩道整備事業に必要な用地の取得 A=116.35m ² 、1 筆及び物件補償 1 件を実施した。 ・用地取得率 : 21.0%					
	その他特財	0	0													
	一般財源	630	1,380													
	事業費 a	6,130	28,621													
	人件費 b	1,500	1,500													
減価償却費 c	0	0														
総事業費 a + b + c	7,630	30,121	指標名		算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
結果指標 1	0.00	0.00	歩道整備延長	累積整備延長	H27 目標値	0.00m	m		妥当	有	適正	有効	無	有		
結果指標 2	4.47	18.78	事業進捗率	累積事業費 ÷ 全体事業費 × 100	H27 目標値	17.60%	%									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 1 . 事業費コストの縮減 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討及び決定 再生資源の活用による建設コストの削減 2 . 時間管理のコスト縮減 事業地取得に要する期間短縮 円滑な移転ができるような方策の検討															
事後評価備考																

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	406104	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	市道 T 5 6 号線 (合戦場工区) 道路改良事業費 (都賀合戦場)										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当者名	建設水道部 道路河川整 道路整備第 1 係						担当者	阿部 洋一				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		道路法		事業期間	H 2 1 ~ H 3 1 年度				全体事業費 (人件費除)	166,800		千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市道 T 5 6 号線 (都賀町合戦場内) を用地買収・改築工事等により改良する。 ・道路拡幅工事 L = 290m W = 12.0m ・用地取得 A=1,740㎡ ・物件補償 19件 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・安全で快適な通行を確保する。 ・沿線の生活環境の保全を確保する。								
	成 施 果 策 目 標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)														

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		その成果	
事業費	国庫支出金	0	0	平成 26 年度		平成 27 年度
	県支出金	0	0	用地交渉難航のため休止		【事業の内容】 道路拡幅事業に必要な土地鑑定評価、用地測量、物件調査、用地の取得及び物件補償を実施する。 【成果】 道路拡幅事業に必要な土地鑑定評価、用地測量、物件調査、用地の取得A=150㎡、4筆及び物件補償1件を実施した。 ・用地取得率：8.54%
	地方債	0	8,400			
	その他特財	0	0			
	一般財源	0	1,043			
	事業費 a	0	9,443			
	人件費 b	0	2,250			
	減価償却費 c	0	0			
	総事業費 a+b+c	0	11,693	指標名	算出方法	単位
	結果指標 1	0.00	0.00	道路整備延長	累積整備延長 H27目標値 0.00m	m
	結果指標 2	36.65	39.89	事業進捗率	累積事業費 ÷ 全体事業費 × 100 H27目標値 50.31%	%
事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	妥当	有	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)					
	1. 事業費コストの縮減 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画の検討及び決定 再生資源の活用による建設コスト削減 2. 時間管理のコスト縮減 事業地取得に要する期間短縮 円滑な移転ができるような方策の検討					

事後評価備考	
--------	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	406901	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	市道 106 号線交通安全施設整備事業費（栃木大宮町）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実		
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路河川整 道路整備第 1 係						担当者	阿部 洋一				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	道路法								事業期間	H23 ~ H34 年度		全体事業費 (人件費除)	338,000 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市道106号線(大宮町地内)を用地買収、歩道の整備により歩車道を分離する。 歩道整備工事 L=780m W=2.5m(完成道路幅員9.5m) 用地買収 1,950㎡ 物件補償 30件 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 通学児童や歩行者等の交通安全を確保する。					
	成 果 策 目 標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		その成果							
国庫支出金	6,325	1,585	平成 26 年度		平成 27 年度							
県支出金	0	0	【事業の内容】 歩道整備事業に必要な土地評価、物件調査及び用地取得を実施する。 【成果】 歩道整備事業のために必要な用地の取得A=217.30㎡、4筆を実施した。 ・用地取得率：8.16%		【事業の内容】 歩道整備事業に必要な物件調査、用地取得及び物件補償を実施する。 【成果】 歩道整備事業のために必要な物件調査、用地の取得A=144.33㎡、8筆及び物件補償2件を実施した。 ・用地取得率：13.59%							
地方債	4,600	1,400	事業の内容 その成果									
その他特財	0	0										
一般財源	609	164										
事業費 a	11,534	3,149										
人件費 b	1,500	1,500										
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	13,034	4,649	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価						
結果指標 1	0.00	0.00	歩道整備延長	累積整備延長	H27目標値 0.00m	m	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2	12.17	13.10	事業進捗率	累積事業費 ÷ 全体事業費 × 100	H27目標値 22.52%	%	妥当	有	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	1. 事業費コストの縮減 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討及び決定 再生資源の活用による建設コストの削減 2. 時間管理のコスト縮減 事業地取得に要する期間短縮 円滑な移転ができるような方策の検討											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	080202	予算事業コード	414601	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	市道各路線交通安全施設整備事業費（栃木）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部署・担当チーム名	建設水道部 道路河川維 道路河川維持第 1 係						担当者	瀬下 敏行				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		道路法		事業期間	H18 ~ H32 年度				全体事業費 (人件費除)	135,400		千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市内各路線の危険性が高いと認められる箇所について、交通安全施設(歩道・照明施設、側溝蓋設置、区画線、ガードレール等)の整備を実施する。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 安全で快適な通行を確保する。								
	成果策目標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)														

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		その成果		平成26年度		平成27年度		事業の事後評価						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 ・市内各路線の危険な箇所について、交通安全施設の整備を実施する。 ・街路灯の設置されていない路線に街路灯の設置を実施する。 【成果】 ・市内14箇所にガードレール等の交通安全施設の整備を実施した。 ・市道106号線に街路灯を設置した。	【事業の内容】 ・市内各路線の危険な箇所について、交通安全施設の整備を実施する。 ・平成27年度より本庁一本化。 【成果】 ・市内各号線に道路反射鏡・区画線を設置した。 ・市道201号線にカラー舗装工事を行った。					妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地		
	県支出金	0	0														
	地方債	0	11,800							妥当	有	適正	有効	無	有		
	その他特財	0	0														
	一般財源	4,999	16,496														
	事業費 a	4,999	28,296														
	人件費 b	750	750														
減価償却費 c		0															
総事業費 a+b+c	5,749	29,046	指標名	算出方法		単位											
結果指標 1	15.00	53.00	整備箇所数	当該年度整備箇所数 H27目標値：5箇所		箇所											
結果指標 2																	

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 再生資源の活用による建設コストの削減														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	491901	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策			
事業名	市道205号線交通安全施設整備事業費（栃木箱森町）										主	3201	安全安心な暮らしの確保			防犯・交通安全対策の充実		
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路河川整 道路整備第1係						担当者	阿部 洋一			従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	道路法			事業期間	H24 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	380,000		千円				
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 箱森町地内の市道205号線用地買収・歩道設置等により歩車道を分離する。 ・歩道整備工事 L=750.0m, W=2.5m ・用地取得 約2,500m ² ・物件補償 建物7棟、他工作物等 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・通学児童や歩行者等の交通安全を確保する。										
	成 果 策 目 標							防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)										
単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込		事業の内容 その成果						平成26年度			平成27年度					
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0							休止 ・緊急な対応策として、清水川に架かる橋の部分 を先行して工事を実施した。			休止					
	県支出金	0	0	事業の内容 その成果			平成26年度			平成27年度								
	地方債	0	0															
	その他特財	0	0															
	一般財源	0	0															
	事業費 a	0	0															
	人件費 b	0	0															
	減価償却費 c	0	0	指標名			算出方法			単位	事業の事後評価		妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	総事業費 a+b+c	0	0	道路整備延長	累積整備延長	H27目標値	10.00m	m	妥当	有	適正	有効	無	有				
	結果指標 1	10.00	10.00	事業進捗率	累積事業費÷全体事業費×100	H27目標値	2.63%	%										
	結果指標 2	2.63	2.63															
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 1. 事業費コストの縮減 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討および決定 再生資源の活用による建設コストの削減 2. 時間管理のコスト縮減 事業地取得に要する期間短縮 円滑な移転ができるような方策の検討																	
事後評価備考	休止																	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	080203	予算事業コード	492001	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	市道 107号線交通安全施設整備事業費（栃木本町・城内町1丁目）										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実	
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路河川整 道路整備第1係						担当者	阿部 洋一				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	道路法				事業期間	H25 ~ H31 年度			全体事業費 (人件費除)	150,000		千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういつ方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 本町・城内町1丁目地内の市道107号線用地買収・歩道設置等により歩車道を分離する。 ・歩道整備工事 L=175.0m W=2.0m ・用地取得 約440㎡ ・物件補償 建物4棟、他工作物等 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) ・通学児童や歩行者等の交通安全を確保する。								
	成 果 策 目 標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)														

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		その成果	
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成26年度		平成27年度
	県支出金	0	0	【事業の内容】 歩道整備事業に必要な工事を実施する。		【事業の内容】 歩道整備事業に必要な土地鑑定評価、用地測量、物件調査を実施する。
	地方債	3,100	1,700	【成果】 歩道整備事業に必要な工事を実施した。		【成果】 歩道整備事業に必要な土地鑑定評価、用地測量、物件調査を実施した。
	その他特財	0	0	・工事進捗率：21.00%		
	一般財源	356	293			
	事業費 a	3,456	1,993			
	人件費 b	1,500	1,500			
減価償却費 c	0	0				
総事業費 a+b+c	4,956	3,493	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価
結果指標 1	36.80	40.00	歩道整備延長	累積整備延長 H27目標値 40.00m	m	妥当性
結果指標 2	6.20	2.30	事業進捗率	累積事業費÷全体事業費×100 H27目標値 8.23%	%	妥当
						コスト削減の余地
						受益者負担
						上位貢献度
						類似事業の有無
						成果向上の余地

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)					
	1. 事業費コストの縮減 用地取得に伴い移転の必要な補償費削減を意識した計画線の検討および決定 再生資源の活用による建設コストの削減 2. 時間管理のコスト縮減 事業地取得に要する期間短縮 円滑な移転ができるような方策の検討					

事後評価備考	
--------	--

事業

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	080202	予算事業コード	497301	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	通学路安全施設整備事業費										主	3201	安全安心な暮らしの確保		防犯・交通安全対策の充実		
担当部課 係・担当チーム名	建設水道部 道路河川維 道路河川維持第 1 係						担当者	瀬下 敏行				従					
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等								事業期間	H 2 4 ~ H 3 2 年度		全体事業費 (人件費除)	33,000 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 通学路の安全を確保するため、関係機関の連携による通学路の安全点検および即効性のある対策を講じる。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 通学路上の危険箇所について即効性のある対策を講じ、危険を縮小・解消する。					
	成 果 策 目 標	防犯灯延設置数...5年間(平成25年度~平成29年度)で13,750基(現状値12,261基) 交通安全教室参加者数...5年間(平成25年度~平成29年度)で6,000人(現状値4,506人) 歩道設置道路延長...5年間(平成25年度~平成29年度)で132,251m(現状値129,306m)															

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込	平成 26 年度		平成 27 年度								
事業費・指標の推移	国庫支出金	6,034	0	【事業の内容】 通学路の緊急合同点検結果に基づき、路側帯のカラー化や路面表示等の即効性のある工事を実施する。		【事業の内容】 通学路の安全点検により明らかになった危険箇所について即効性のある対策を講じ、危険を縮小・解消する。								
	県支出金	0	0	【成果】 ・市道F5-84号線の路側帯のカラー舗装を実施した。 ・市道215号線外14路線に路面表示等の安全対策を実施した。		【成果】 ・区画線設置、側溝改修を行った。 ・市道B229号線に歩車道境界ブロックを設置した。								
	地方債	4,900	0	事業の内容 その成果										
	その他特財	0	0											
	一般財源	6,588	3,996											
	事業費 a	17,522	3,996											
人件費 b	1,500	1,500												
減価償却費 c		0	指標名		算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
総事業費 a+b+c	19,022	5,496	対策実施箇所数	危険の縮小・解消のための措置を実施した箇所数	H27目標値：20箇所	箇所	妥当		有	適正	有効	無	有	
結果指標 1	16.00	9.00												
結果指標 2														

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)					
	国が示した実施要領に基づき実施した緊急合同点検の結果を踏まえ、ライン処理等により注意喚起・視認性向上を図った。					

事後評価備考	本事業は、教育委員会が実施する通学路の安全点検の結果に基づき、交通防犯課、教育総務課等関係課と連携しながら実施した。					
--------	--	--	--	--	--	--